

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)患者の発生等について

1 新規患者の概要

本日、新規患者の公表はありません。

2 療養者数等の状況（本日13時時点）

計 (うち仙台市)			療養中									療養終了	死亡
			入院			宿泊療養	自宅療養	入院・療養先		当日分			
			うち感染症指定医療機関	うち入院協力医療機関	その他医療機関								
患者	県	6,184人	2人	1人	0人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	6,130人	52人
	仙台市	10,096人	2人	1人	0人	1人	0人	0人	0人	1人	0人	10,028人	66人
	合計	16,280人	4人	2人	0人	2人	0人	1人	0人	1人	0人	16,158人	118人
その他	県	7人	欠番（744例目, 1196(市800)例目, 4298例目, 4688(市3050)例目, 5163(市3377)例目, 5605(市3677)例目, 6373(市4144)例目, 6504(市4240)例目, 7640(市4903)例目, 8991(市5651)例目, 9028(市5678)例目, 9929例目, 12016(市7427)例目, 12963例目, 13354例目, 14103例目, 15577例目, 16260(市10079)例目)										
	仙台市	11人											
	合計	18人											
総数	県	6,191人											
	仙台市	10,107人											
	合計	16,298人											

3 病床の使用状況（本日13時時点）

(1) 確保病床の状況

〈全県〉

	確保病床	
	全入院者	うち重症者
確保病床数	500床	54床
入院者数 (使用病床数)	2人	0人
使用率	0.4%	0.0%

〈仙台医療圏〉

	確保病床	
	全入院者	うち重症者
確保病床数	319床	39床
入院者数 (使用病床数)	2人	0人
使用率	0.6%	0.0%

※確保病床・・・各医療機関から報告のあった現時点で確保している病床

※入院者数（使用病床数）は、その他医療機関に入院されている方を含みません。

※本日の病床数：500床（感染症指定医療機関：244床，入院協力医療機関：256床）

(2) 受入可能病床の状況

〈全県〉

	受入可能病床	
	全入院者	うち重症者
受入可能病床数	133床	16床
入院者数 (使用病床数)	2人	0人
使用率	1.5%	0.0%

〈仙台医療圏〉

	受入可能病床	
	全入院者	うち重症者
受入可能病床数	55床	9床
入院者数 (使用病床数)	2人	0人
使用率	3.6%	0.0%

※受入可能病床・・・対応人員や入退院の状況により実際に各医療機関が当日に受入可能な病床

※入院者数（使用病床数）は、その他医療機関に入院されている方を含みません。

県民へ感染対策の強化の呼びかけ

感染対策として気をつけるべきポイント5点

- ① 会話の際には**1.9メートルの距離**をとり、会話の**時間は短く**する

※従来は1～1.5メートル。相手との距離を十分にとる



- ② 必ず**不織布のサージカルマスク**を着用する
※ウレタンや布のマスクは感染予防効果が低い



- ③ **こまめに換気**をする
※家庭用エアコンで換気はできない
冷暖房をしても定期的に換気をする
2箇所窓を開け、扇風機で空気の流れをつくり、常時換気することが望ましい



- ④ 速やかに**ワクチンを接種**する
※高齢者のワクチン接種は概ね完了
次は若年者がワクチン接種を



ワクチン2回接種後も、感染予防対策は必要です!!
感染者のうち、約7%の*ブレイクスルー感染がわかっています。

*ブレイクスルー感染とは、ワクチン2回接種後、2週間以上経って発症（感染）している方を集計しています。

- ⑤ 感染者が増加しているときは、**普段会わない人（家族以外の人）と会うのは避ける**

※最近会っていなかった友人や知人、初めて会う人との接触はできるだけ減らす

休日のそうした行動で感染しているケースが多く、休日後の感染拡大につながっている

リモートでのコミュニケーションを積極的に取り入れる



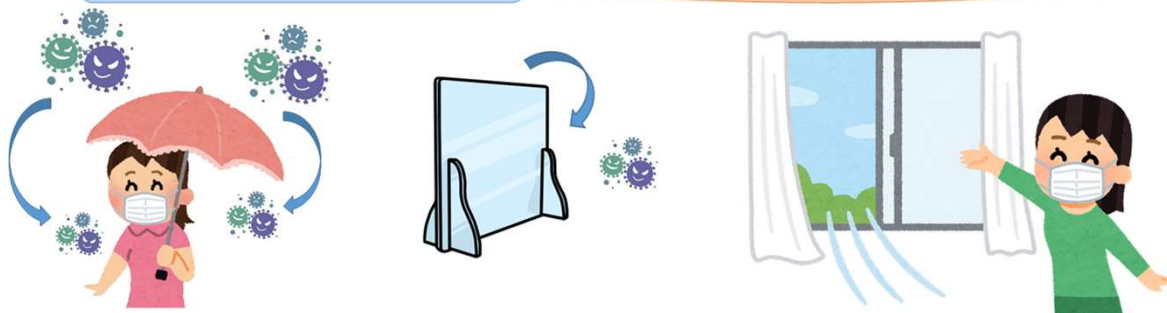
エアロゾル感染とは

エアロゾルとは、空気中の小粒子や飛沫が浮遊している状態のこと

- ・咳で約700個/回、くしゃみで約4万個/回発生
- ・気管挿管や喀痰吸引等の医療処置ではさらに多く発生

ウイルスが回り込んで来る可能性あり
アクリル板を過信しないで！

マスク着用と換気が重要!!



忘年会でも感染対策を忘れずに！

●感染リスク

年末年始は忘年会・新年会が行われるため、人々の交流が増え感染のリスクが高くなります。



●感染防止策

忘年会・新年会は、なるべく普段から一緒にいる人と少人数で開催しましょう。

